

平成29年度 経営発達支援計画事業 事業実績

平成26年6月に小規模支援法が改正され、小規模事業者の持続的発展を支援するために商工会及び商工会議所が、小規模事業者の課題に対して事業計画の作成や着実な事業の実施を支援すると共に、地域活性化につながる事業を策定し事業者に寄り添って支援する体制を整えた「経営発達支援計画」を国が認定する制度が導入され、当所では【産業間連携による地域資源の活用】、【人口減少による事業所数の減少・労働力不足による地域力の低下】、【「個」の競争力ではなく「地域」面としての競争力を高める地域間連携の推進】の地域の課題を抽出。

4つの地域振興方針①事業の拡大・継承による事業所数の減少防止、②産業・地域間連携による産業の振興、③新たな企業の創出・育成、若年者の雇用機会の確保と人口流出防止、④関係機関との連携による支援体制の確立に基づき「経営発達支援計画」を策定、関係機関と連携し、平成27年11月17日に経済産業大臣からの事業認定を受け、地域中小企業・小規模事業者の方々に対する伴走型支援を実施。

1. 地域の経済動向調査に関すること

地域内の景気動向・業界動向の実態を迅速に把握し課題を抽出し経営改善支援（経営分析50件、事業計画策定事業者12件）に繋げる。経営指導員による巡回訪問を実施し個別課題を把握する。

| 調査事業等 | 29年度目標 | 29年度実績 |
|---------------|--------|--------------------|
| 北見市における景気動向調査 | 4回 | 4回 |
| 新規学卒者予定初任給調査 | 1回 | 1回 |
| 中小企業振興委員連絡会議 | 2回 | 1回 |
| 金融懇談会 | 4回 | 1回 (他個別ヒアリング実施) |

2. 経営状況の分析に関する事

各種セミナーの開催により支援を必要とする小規模事業者の掘り起しを行うと共に経営指導員による巡回により経営状況を個別に把握し、経営改善支援（経営分析件数：50件）に繋げる。

| 事業等 | 29年度目標 | 29年度実績 |
|-----------|--------|--------|
| 巡回訪問 | 750件 | 615件 |
| 創業セミナーの開催 | 4回 | 6回 |
| 各種セミナーの開催 | 10回 | 12回 |
| 経営分析件数 | 50件 | 40件 |
| 専門家相談件数 | 10件 | 44件 |

3. 事業計画策定支援に関すること

経営指導員による巡回、地域の経済動向調査、経営状況の分析を活用し数字・データに基づく事業計画策定支援（事業計画策定事業者：12社）を実施。創業支援では新規創業計画作成支援（支援者数：20人）を行う。

| 事業等 | 29年度目標 | 29年度実績 |
|-----------------|--------|--------|
| 巡回訪問 | 750件 | 615件 |
| 事業計画セミナー・相談会の開催 | 2回 | 1回 |
| 事業計画策定事業者数 | 12社 | 11社 |
| 経営革新セミナーの開催 | 1回 | 0回 |
| 創業セミナーの開催 | 4回 | 6回 |
| 創業支援者数 | 20人 | 12人 |

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

経営指導員による巡回指導を定期的に行い、事業計画を策定した事業者が着実に計画を推進できるよう事業者に寄り添った伴走型支援を行う。また、創業では創業者間の情報交換会を開催し、創業時における課題・悩み等の共有と解決、仲間づくりを図り、開業後の事業存続率60%以上を目指す。

| 事業等 | 29年度目標 | 29年度実績 |
|------------------|--------|-------------|
| 巡回訪問 | 750件 | 615件 |
| 創業支援者数 | 20人 | 12人 |
| 事業計画策定事業者数 | 12社 | 11社 |
| 創業者間情報交換会の開催 | 1回 | 1回 |
| 第2創業（経営革新）支援者数 | 8社 | 9社 |
| 事業計画実施のフォローアップ件数 | 60回 | 45件 121回 |

5. 需要動向調査、新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

地域内外における各種展示会・商談会への出展を促し、「バイヤー・来場者の生の声」を収集するなどし、自社商品の認知度・課題を把握すると共に市場や競合を調査する。

食関連では、まちづくり会社やアンテナショップを活用しテスト販売支援等の機会を活かし需要動向調査を行う。

| 事業等 | 29年度目標 | 29年度実績 |
|----------------------------|--------|--------|
| 展示会・商談会の開催 | 開催検討 | 2回 |
| （卸・小売業）、（工業・IT）等の展示会参加回数 | 5回 | 4回 |
| （卸・小売業）、（工業・IT）等の展示会出展支援者数 | 15社 | 28社 |
| 展示会におけるアンケートの実施 | 3回 | 4回 |
| ITリテラシー等セミナーの開催 | 1回 | 1回 |
| IT利用活用調査の実施 | 実施検討 | 実施済 |

6. 地域経済の活性化に資する取組

関係機関との連携による経営支援並びに地域活性化に向けた取組についての情報共有を図ると共に事業の検討を行う。食イベント・交流人口拡大イベントの開催。中心市街地の活性化に向けた空き店舗対策事業の実施。若年者の雇用機会の確保と地域間連携による産業振興を推進する。

| 事業等 | 29年度目標 | 29年度実績 |
|-------------------------------|--------|--------|
| 検討会議の開催（融合センター事務局会議・街コン実行委員会） | 12回 | 15回 |
| 地産地消フェスタ | 1回 | 1回 |
| 厳寒の焼肉まつり | 1回 | 1回 |
| 北見ぼんちまつり | 1回 | 1回 |
| きたみde街コン | 1回 | 1回 |
| きたみde婚カツ | 2回 | 2回 |
| 北見工業大学生に対する企業説明会 | 1回 | 2回 |

| | | |
|-----------------------|--------|---------|
| 高校生・専門学校生・大学生の地元企業見学会 | 1回 | 1回 |
| まちなかSHOW10 | 継続実施 | 実施 |
| オホーツク地域6会議所包括連携 | 事業実施検討 | 企業説明会2回 |

7. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事

連携機関との懇談会の開催、金融機関との金融懇談会の開催、オホーツク商工会議所経営指導員連絡連絡協議会の開催により情報共有を図る。

| 事業等 | 29年度目標 | 29年度実績 |
|---------------------------|--------|--------------------|
| 金融懇談会の開催 | 4回 | 1回 (他個別ヒアリング実施) |
| オホーツク商工会議所経営指導員連絡連絡協議会の開催 | 3回 | 3回 |

8. 経営指導員の支援能力の向上の取組

日本商工会議所・北海道商工会議所連合会主催及び中小企業大学校における「支援機関職員研修」等への参加、自主研修の開催による支援能力の向上を図る。

10講座（研修） 延16名

9. 支援ノウハウ等を組織内で共有する体制

若手職員に対するベテラン経営指導員とのチーム体制による支援体制の構築を図る。

平成29年度経営発達支援計画 事業評価委員会 実施報告

1. 日 時 平成30年7月6日（金） 午後3時～
2. 場 所 北見経済センター 2階会議室
3. 出席者 北見工業大学社会連携推進センター センター長 有田敏彦氏
北見市商工観光部 部長 山田孝雄氏
服部地域振興部長、後藤企画振興課長、竹中経営指導課長
4. 協議事項 1) 平成29年度当所経営発達支援計画の実績と評価
事務局より当所経営発達支援計画について計画と29年度実績を対比しながら事業効果について説明。その後、委員から事業に対する意見を伺う。
5. 委員からの評価・意見

【平成29年度 実施事項評価表】

| 項 目 | 事業評価 |
|-------------------------------------|------|
| 1. 地域の経済動向調査に関すること | A |
| 2. 経営状況の分析に関すること | B |
| 3. 事業計画策定支援に関すること | B |
| 4. 事業計画策定後の実施支援に関すること | B |
| 5. 需要動向調査、新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること | A |
| 6. 地域経済の活性化に資する取組 | A |
| 7. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること | A |
| 8. 経営指導員等の支援能力の向上の取組 | A |
| 9. 支援ノウハウ等を組織内で共有する体制 | B |

4段階評価の目安

A：十分達成している、B：概ね達成している、C：半分程度しか達成できていない、D：ほとんど達成で

【意見】

- ・各項目の数値的目標に苦慮されているのが伺えるが、小規模事業者振興のために頑張って頂きたい。
- ・職員減員のなかで、一部目標値より低い項目はあるものの、全体としては、ほぼ目標達成されていると思う。
- ・各項目の総合判定において再度基準の見直しを行ったほうがいいのではないか。事業における重要度の様なものを取り入れるべきではないか。
- ・各項目の総合判定の中で、地域経済の活性化に資する取組みがAランクにはなっているものの、いわゆる地域の祭り等イベントで巡回や事業者支援等の本来業務が停滞するのは良くない。人員不足に係る支援について北見市としても積極的に助力していけるようにしたい。
- ・地域経済の活性化に資するイベント等に関しては、地域の学生の活用を検討してはどうか。実施にあたっては、大学との連携を図ることにより学生の組織化が可能となるのではないか。

【当所からの回答】

- ・ 人員不足について、現在、中期財政計画に取り組んでおり、その中で職員採用を検討していく事としている。
- ・ 地域経済の活性化に資する取組みでは、事業運営など多くの関係機関の助力が必要であり、関係機関に協力を呼びかけていきたい。

【30年度事業実施に向けての改善点】

- ・ 創業支援では、入門・実践セミナーの連携で創業意識の醸成を行い、創業者の創出を図る。併せて、創業後の情報交換会や巡回による創業後のアフターフォローを強化する。
- ・ 昨年度の小規模事業者の事業承継実態調査結果に基づき、事業承継に特化したセミナーを企画し、今後の支援につなげると共に事業承継診断を活用した気づきを促すこととする。
- ・ 事業計画策定後のフォローアップについて、支援事業者に対するフォローアップが不足していることから30年度は更にきめ細かくフォローアップを行い事業計画に沿った事業の進捗状況を確認し支援していくこととする。
- ・ 展示会・商談会出展支援事業者について同一事業者の参加が多いく、関係機関と連携を強化して多くの小規模事業者に出展を呼びかけ参加を募ることとする。